

伊勢崎市民病院だより

# ふれあい



7

2005年  
第15号  
月号

〒372-0817 群馬県伊勢崎市連取本町12番地1 TEL 0270-25-5022(代) FAX0270-25-5023  
ホームページ : <http://www.hospital.isesaki.gunma.jp>

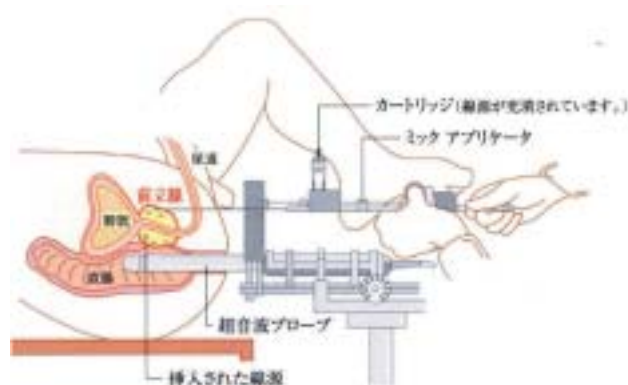
## ● 前立腺がんの新しい治療法 ● ～小線源療法が導入されました～

わが国の前立腺がん罹患率は数年後には男性において第一位になると推定されています。

伊勢崎市では2002年～2006年までの5年間で50歳以上の男性を対象として前立腺研究財団の助成の下に前立腺がん検診を実施し、多数の患者さんを診断し、前立腺がんを発見しています。その結果、当科でも前立腺がん患者さんの増加は顕著であり、約7割は早期癌の診断です。早期癌に対する治療としては、ホルモン療法、手術療法および外照射療法を実施していますが、性機能の維持、手術侵襲、術後尿失禁の問題、照射後の直腸出血などの合併症があり、治療による生活の質の低下を認めることがあります。

欧米では10年前より組織内照射療法が開始されており、治療成績も手術と同様であり、性機能も高率に温存されることから早期癌の治療オプションの一つとして普及しています。特にI<sup>125</sup>シード線源の前立腺永久留置による小線源療法は侵襲も少なく、放射線の合併症も軽度であり放射線療法の主流となっております。全国で31番目の施設として当院では今年5月より治療を開始いたしました。

前立腺がんが発見された場合で、小線源療法を希望される方は、紹介状をご持参のうえ月曜日の午後の泌尿器外来に受診してください。



泌尿器科主任診療部長 小林 幹男

## 栄養サポートチームが活動を開始しました

ペットボトルにも、牛乳パックにもスナック菓子にも、レストランのメニューにも三大栄養素、ミネラル、ビタミン、カロリーの表示を目にする事が多くなりました。サプリメントも流行り、栄養管理への関心は高まっています。

ところで、これまでの私たち医療従事者の栄養への関心・知識は十分とは言えませんでした。薬物療法、手術治療に専心している間に大切な受け持ち患者さんがホスピタルマルニュートリション（在院栄養不良状態）におちいる危険があります。

栄養サポートチーム(nutritional support team：NST)が組織されました。医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、事務職からなる医療チームで、診療科横断的に活動を開始したところです。

脳外科疾患で摂食に問題がある人に経管栄養を行い、嚥下をトレーニングする。消化器の手術を受けた方の静脈栄養が適切かをチェックし、経管栄養も平行して行い早めに腸を使う。栄養面からも褥創予防する。全病棟、全科にはいまだ及びませんが、徐々に各種病

態に応じた栄養ルート、献立、点滴、経腸栄養を理想的に提供していけるよう学び、実践していきたいと思います。

患者さんからも主治医に質問してください。私は現在どれだけの水分と蛋白とカロリーを摂取しているのか。薬だけでなく栄養にもお互いに関心を持っていきたいと考えています。



外科診療部長 鈴木 一也

## 病院内の医療福祉相談員

人間には元来、ホメオスターシスと言われる自己調整機能が備わっており、この生体機能は病気に対する自然治癒力、自然回復力という言葉に置きかえることができます。

しかし、そのホメオスターシスに社会的ストレス、例えば職業その他社会生活への影響や医療費・生活費への不安が加わることでより十分機能しなくなってしまうことがあります。

私たち医療ソーシャルワーカーは、患者さんやご家族のそういったストレスを排除もしくは調整できるよう、社会福祉の立場から社会資源の利用方法等をご案内し、ご家族が抱えている問題について一緒に考え、必要に応じて地域の福祉・保健・医療機関

等と連絡を取り合いながら、患者さんやご家族自身が解決できるようお手伝いをしています。



地域医療連携室 社会福祉士 石井美津絵

## 転倒予防について

高齢者・障害者の転倒は、歩行できなくなる大きな要因です。転倒の要因には、

- ①高齢に伴う立位能力、歩行能力の低下
- ②各種疾患に伴う立位能力、歩行能力の低下
- ③廃用症候群（寝たきりで過ごす）を引き起こす状態におかれた場合
- ④転倒しやすい環境による影響などです。

高齢者では、立位能力、歩行能力は年齢とともに低下しますが個人差が大きいです。転倒に伴う骨折では、大腿骨頸部骨折、腰椎圧迫骨折などが多いです。骨折を起こすと痛みや転倒に対する不安でさらに歩行がおっくうになり敬遠するようになります。そして、生活の不活性化が起きます。

転倒を予防するには、特別にトレーニングをしなくても 歩く、またぐ、昇って降りる、持ち上げるなどの日常的な動作（身体活動）に注目して自分の体調変化をチェックしてみましょう。

体調の良いときに、

- ①いつもより大きい歩幅で歩いてみる
- ②いつもより少しだけ早く歩いてみる
- ③ひとつ手前のバス停で降りて歩いてみる
- ④エレベーターを使わずに階段で昇ってみる

などを行ってみましょう。実はこれが無理なく続けられる運動＝身体活動なのです。

日頃からこまめに体を動かすことで、自分の体調を知りながら、体を動かすことが大切です。



高齢者（左）と若年者（右）の歩行姿勢

リハビリテーション科 西田和生

## OD錠って何？

最近、お薬の剤形で、OD錠（口腔内崩壊錠）という言葉聞いたことがありませんか。通常、錠剤やカプセル剤を服用する時はコップ一杯程度の水又はぬるま湯で飲んでいますが、そのようにしないと、薬が喉にひっかかってしまったり、溶けにくかったりすることが起こりえるからです。

OD錠とは水がなくても飲めるタイプのお薬です。見た目は普通の錠剤と変わりませんが、口に含むと唾液で解け、そのまま飲みます。又、コップに水とOD錠を入れ、溶かしてから飲むこともできます。もちろん、普通の錠剤のように飲んでもかまいません。どのような飲み方をされても効き目は変わりませ

るので安心して下さい。まだ、種類は少ないですが、今後増えていくことが予想されます。

ただし注意していただきたい点は、横に寝たまま飲むと、喉や食道に薬がとどまってしまう、悪影響を及ぼすことがあります。必ず身体を起こした姿勢でお飲み下さい。

OD錠には次のような特徴があります。

- 飲むべき時間に、水がなくても服用できる。
- ものを飲み込むのが困難である患者さんでも服用しやすい。
- 水分制限されている方でも、気にせず服用できる。

薬剤部

看護部リスクマネジメント委員会より今月の標語

### 「見られています あなたの行動 あなたの態度」

私達看護部では患者さんとの信頼関係を築くために言葉使い、態度に常に気を配りお互いに注意しあっています。

編集室より

「笹の葉サラサラ」・・・七夕、短冊に願いを込めて広報誌ふれあいの愛読者が増えますように・・・これからも皆さんに親しまれる紙面作りを目指し頑張りますのでよろしくお願い致します。

K.M